

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公表番号】特表 2006-513850(P2006-513850A)
 【公表日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-017
 【出願番号】特願 2004-569429(P2004-569429)
 【国際特許分類】

B 0 1 J 8/02 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 8/02 E

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 13 日 (2006.9.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

反応器内に中央ドラフトチューブを有し、該ドラフトチューブ内に少なくとも 1 つの羽根車が配設され、該ドラフトチューブと該反応器の壁との間に環状空隙を有し、かつ該ドラフトチューブとこれと向流的流れが通る該環状空隙の内部に形成される一方向の流体流路を有するタイプの反応器において、

a) 前記環状空隙内に固体触媒を受容して触媒床を形成する少なくとも 1 つの容積を設け、

b) 前記環状空隙を通る流体の流れの方向に対して前記触媒床の下流側の前記環状空隙内にフィルタエレメントが配置され、該フィルタエレメントは流体がフィルタエレメントを流れることができるようにその中に孔を有し、該孔は触媒粒子が前記触媒床から出て行くのを実質的に阻止するのに十分小さい孔であり、

c) 所望により、前記環状空隙を通る流体の流れの方向に対して前記触媒床の上流側の前記環状空隙内に、流体がフィルタエレメントを流れることができるように、その中に孔を有する第 2 のフィルタエレメントが配され、
 前記反応器は少なくとも 1 つの供給流入口および少なくとも 1 つの生成物流出口を有する反応器。